



岡山のスゴい文化 *Meets* 東京キャラバン!!

東京キャラバン in 岡山

2019年12月8日(日) 12:00~、14:00~、16:00~

開演前に倉敷美観地区内にて練り歩きパフォーマンスを実施

倉敷物語館 観覧無料

岡山県倉敷市

<http://tokyocaravan.jp>

リーディングアーティスト:

福原充則

(脚本家・演出家)

あの「東京キャラバン」が岡山にやってくる!
野田秀樹が提唱する「多種多様なアーティスト
たちの“文化混流”から生まれる新たな表現」

をコンセプトに創作するワークショップとパフォーマンス、それが「東京キャラバン」
です。東京、リオデジャネイロ、東北、京都、熊本、豊田、高知、秋田、いわき、埼玉、
富山を旅して、数々の“わくわく”と“どきどき”を生み出してきた“旅する文化
ムーブメント”は、ここ岡山でさらに進歩します。東京2020オリンピック・パラリンピ
ック開催と、その先の未来へ続く“始まりの物語”を、“あなた”と紡ぐ一日です。



Come on!
来て! 観て!
「東京キャラバン」

「これまで出会うことのなかった表現者たちが言語や国境、表現ジャンルを飛び越えて、混じり合うところに、文化が生まれる」この野田秀樹（劇作家・演出家・役者）の提唱に賛同する様々な表現者同士の“文化混流”から生まれる、唯一無二の“旅する文化サーカス”。それが「東京キャラバン」です。
2015年から東京、ブラジル、東北、京都、熊本、豊田、高知、秋田、いわき、埼玉、富山など国内外を訪れ、その土地の文化や伝統芸能の担い手、表現者、新たな可能性を持った若者らと出会い、今までにないパフォーマンスを創作・発表してきました。目撃し体感する観客のみなさんが、それぞれの心に蒔かれた“文化の種”を育て、未来へと続いていく文化活動のプラットフォームになってくれることを願って、今年も東京キャラバンは日本中を駆け巡っていきます。



岡山の歴史や文化を体感し、そこから着想を得たりリーディングアーティストの福原充則（脚本家・演出家）と参加アーティストらが、備中神楽や音楽、ダンスなど、岡場で活躍する文化の担い手や表現者たちと出会い、ジャンルを越えて交わり、ともに新しい表現を創り上げます。果たして、どんなパフォーマンスが花開くのか。ステージは目撃者である“あなた”を通して完成します！観覧は無料、出入り自由。「東京キャラバン in 岡山」でしか観ることのできない貴重なパフォーマンスを、是非とも“生”で体験してください！

2019年(令和元年)
12月8日(日)
12:00~、14:00~、16:00~
*開演前に倉敷美観地区内にて練り歩きパフォーマンスを実施

倉敷物語館

岡山県倉敷市阿知2丁目23-18



- [アクセス]
- 徒歩の場合
倉敷駅より徒歩約15分
 - 車の場合
山陽自動車道倉敷ICまたは、瀬戸中央自動車道早島ICから約20分
 - ※美観地区周辺駐車場をご利用ください。

観覧無料・事前予約不要・出入り自由

※雨天時はプログラムを変更して実施します。 ※出演者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。 お問い合わせ先:info@tokyocaravan.jp
主催:東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、岡山県 後援:倉敷市 総監修:野田秀樹(劇作家・演出家・役者)
メインビジュアル:石原七生 屏面写真:井上嘉和、篠山紀信、宮井正樹、三浦知也、石川拓也、コンドウダイスケ

◆「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは
東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の東京を文化の面から盛り上げるため、Tokyo Tokyo FESTIVALとして様々な文化プログラムを展開しています。東京キャラバンはその一環として実施しています。また、東京2020公認文化オリンピックアードでもあります。 <https://tokyotokyofestival.jp>



今回の東京キャラバンでは、*Leading Artist*
「市井の人々を描いた小さな物語」と「小さなパレード」をやらうと目論んで、岡山のアーティストの方々とおディジョン、様子見の稽古、と段階を踏んできました。東京からも役者を数名連れて行ったので、行く前は、「東京と岡山の共通点を見つけ、違いを楽しむ」みたいなことがあったんですが、いざそれぞれのダンサー、ミュージシャン、ジャンルで形容できない創作者の面々と会うと、そこには地域性よりも、個人の物語が流れていたな、と。我々は、どこにいても、その場の楽しさと哀しみがあって、それに寄り添って生きている。その小さな物語を、みなさまにお届け出来たらと思っています。難しい話ではないです。僕は娯楽ありきの人間なので、今書いたようなことを前提にしつつ、のんびり、なにも考えず、無料で、楽しめる作品にしますので、ぜひぜひお越し下さい。



福原充則（脚本家・演出家）

とにかく生で見て、心で感じること！
それが「東京キャラバン」の醍醐味です！

- 参加アーティスト 福原充則、<以下五十音順>赤田晃一（サクソ奏者）、板橋駿谷（俳優）、大西千夏（マルチアーティスト）、加賀美幹（ダンサー）、亀田梨紗（俳優）、嶋村太一（俳優）、武内浩一（ダンサー）、寺井義貴（俳優）、永島敬三（俳優）、中林舞（振付家・俳優）、西山宏幸（音楽家・俳優）、福原冠（俳優）、芳友会（備中神楽）、山口佳子（パフォーマー）
- 参加クリエイター 青木兼治（映像）、加賀雅俊（写真）、さんびん（創作協力）ほか

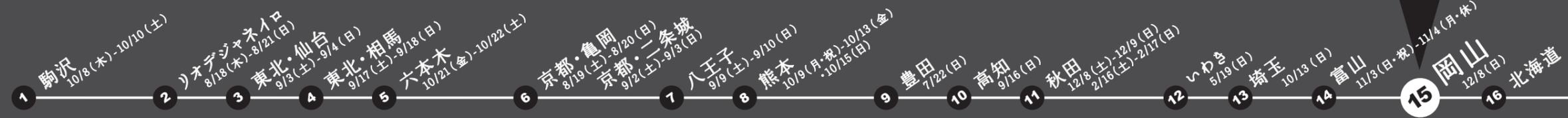
「必要なのは、今、2020年にむけての「物語」、そして、その「物語」が2020年を超えても続いていけるような、そんな「物語」を作ることはできないのか？ 1964年の東京オリンピックには、これで戦後が終わっていくのだ、日本がよいよ世界に向かって復帰できるのだ、といった確固たる物語があったように思う。今回の東京オリンピックには、今、日本人を動かすべき、そうした大義名分のような「物語」を簡単に見つけることは難しいだろう。ただ、ある程度の大きさの「物語」を積み重ねることで、人々の「気運」を作ることはできる。そして、盛り上がった「気運」の中からしか、壮大な物語は生まれないと思う。（中略）そして、この東京キャラバンが日本にばらまいた、目の前にある文化＝ライブの面白さ。それを経験した小さな子供たちの心の中に種が撒かれる。インターネットの普及で偏りがちになった文化とは、全く違う姿、目の前で息をしている人間が生み出す文化への興味を示してくれるようになり、その中から、新たな形態の文化を生み出すとき、この「東京キャラバン」という物語は、本当に壮大な物語になるだろう。」



総監修 野田秀樹（「東京キャラバン」構想より）

インターネットでのライブ中継実施決定！

「東京キャラバン in 岡山」をより多くの皆さまにご覧いただくため、12月8日(日) 14:00から公式WEBサイトにてインターネットライブ中継いたします。詳しくはWEBサイトをご覧ください。
<http://tokyocaravan.jp>



2015 プロローグ “旅立つ前夜”
2016 地球の反対側から日本へ
2017 日本全国へ
2018 さらに日本全国へ
2019 全国を巡り2020へ
2020

Future...